

部局名

農学部海洋生物環境学科

担当: 村瀬敦宣

11 住み続けられる
まちづくり



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



活動内容

815種掲載「門川の魚大図鑑」

門川町は昔から「さかなの町」として知られてきた。そんななか、2017年に宮崎大学が門川町と包括連携協定を締結し、連携事業の一環として門川町を中心とした宮崎県の海の豊かさを学術的に解明するための「さかな図鑑プロジェクト」が始められ、2019年には3年の歳月を経て515種が掲載された図鑑『宮崎県のさかなのまち 門川の魚図鑑』が出版されました。

さらに2021年3月には深海を含む門川町の沖合(水深20~363m)で操業している底曳網漁業で漁獲された魚類も対象に含めた大図鑑『新・門川の魚図鑑: ひむかの海の魚たち』が完成しました。

大図鑑の最大の特徴は、その魚種の多さ。なんと、815種の魚が全て地元で採れた実物のカラー写真で掲載されています。さらに、3段階の水深で分けられたそれぞれの環境別に魚類を紹介していく、立体的に門川の海の多様さと、それぞれの環境に生息する魚種の違いを知ることができます。ようになっていて357ページにもおよぶ大作となっています。

2021年7月1日発刊

ひむかの 海の 魚たち

—新・門川の魚図鑑—

沿岸
+大陸棚
+深海 = 815 種

編: 村瀬敦宣 三木詠平 和田正昭 濑部宏
宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 鰐図フィールド



▲代表魚紹介ページ
▼沖合漁場(陸棚)の魚のページ



▲浅場の魚のページ
▼深海漁場の魚のページ



本研究室は水辺の生物多様性研究の成果を社会や教育の現場に還元するプロジェクトを通して、地域の生物相研究が環境教育に貢献するモデルを発信していきます